

保健体育科 学習指導案（略案）

『単元名』 『題材名』	『ダンス』 「基礎練習・発表会に向けた練習」	日時	11月19日（火）⑤⑥ 11月22日（金）②③	場所	体育館
学習集団	1 学年生徒 Aグループ（技・窯）、Bグループ（農・木・工）		授業者	◎佐野、西森、鈴木、河野	
題材のねらい 及び評価規準	知識・技能	振り付けを覚え、音楽やリズムに合わせて踊る。			
	思考・判断・表現	自分の意見を伝える。			
	主体的に学習に取り組む態度	ルールを理解し、仲間と話し合いながら取り組む。			
授業の視点 ※該当となる項目 にチェックを付け てください	主体的な学び		対話的な学び		深い学び
	☒ 興味や関心を高める ☒ 見通しを持つ ☐ 自分と結びつける ☐ 粘り強く取り組む ☒ 振り返って次へ繋げる		☒ 互いの考えを比較する ☒ 多様な情報を収集する ☒ 思考を表現に置き換える ☐ 多様な手段で説明する ☐ 先哲の考えを手がかりとする ☒ 共に考えを創り上げる ☐ 協働して課題解決する		☐ 思考して問い続ける ☒ 知識・技能を習得する ☒ 知識や技能を活用する ☐ 知識や技能を概念化する ☐ 自分の考えを形成する ☐ 新たなものを創り上げる
使用する ICT 機器		iPad（一人1台）、TV（各学級から）、AppleTV			
使用するアプリ・クラウドサービス等		カメラ、YouTube、Google ドライブ			
学習時間	生徒の活動		教師の活動 ICT の活用の留意点		教材・教具 評価規準
13：20 09：45	集合・整列 体育委員が号令を掛ける 本時の内容の確認 ・課題曲の発表 ・学習グループの発表 ・iPad に関わるルールの確認 ・基本振り付けの練習 ・グループ練習		体育委員を指名する。 ☐ 頭で説明する。		iPad、AppleTV、 TV
13：30 09：55	ランニング 準備体操		体育館を2周する。 体育委員の演示を見ながら体操する。		
13：35 10：00	課題曲の発表 学習グループの発表 iPad に関わるルールの確認		「I wonder／Da-iCE」※動画視聴 ☐ 頭で説明する。 動画をダウンロードする。 授業に関係ないサイトを見たり、聞いたりすることがないよう伝える。		
13：55 10：20	基本振り付けの練習 演示を見ながら振り付けを覚える。		演示：佐野 B メロまでの振り付けを確認する。		☒ 振：振り付けを覚え、音楽やリズムに合わせて踊る。
イントロ（4エイト）→A メロ（4エイト）→B メロ（4エイト） →サビ（4エイト×2）→間奏（4エイト）→C メロ（2エイト） →大サビ（4エイト×2）→アウトロ（4エイト） ※大サビの4エイト×1は自分たちで振り付けを考える。					
14：25 10：50	グループ練習 iPad を活用しながら練習する。 立ち位置を決める。 本時の練習成果を動画に残し、 Google ドライブに提出する。		生徒の iPad で動画を撮影する。 『共有ドライブ→生徒・学級用→1 学年→保健体育→該当するグループ』		☒ 振：振り付けを覚え、音楽やリズムに合わせて踊る。 ☒ 思・判・表：自分の意見を伝える。 ☒ 団：ルールを理解し、仲間と話し合いながら取り組む。
15：00 11：25	集合・整列 整理体操 体育委員が号令を掛ける		体育委員の演示を見ながら体操する。 体育委員を指名する。		

<学習グループ>

・A グループ（生産技術科・窯業科）

	メンバー	指導者
①		佐野
②		西森
③		鈴木

※指導者はダンスの撮影補助を中心にサポートをお願いします。

・B グループ（農業科・木工科・工業科）

	メンバー	指導者
①		佐野
②		西森
③		河野

※指導者はダンスの撮影補助を中心にサポートをお願いします。

1 学年 保健体育「ダンス」単元学習日程

<A グループ（技・窯）>

日付／校時	題材内容
11月19日（火）⑤・⑥	オリエンテーション、全体練習、グループ練習
11月26日（火）②・③	全体練習、グループ練習
12月03日（火）⑤・⑥	全体練習、グループ練習
12月10日（火）⑤・⑥	グループ練習
12月17日（火）⑤・⑥	グループ練習
12月23日（月）⑥	合同発表会

<B グループ（農・木・工）>

日付／校時	題材内容
11月22日（火）②・③	オリエンテーション、全体練習、グループ練習
11月29日（金）②・③	全体練習、グループ練習
12月06日（金）②・③	全体練習、グループ練習
12月13日（金）②・③	グループ練習
12月20日（金）②・③	グループ練習
12月23日（月）⑥	合同発表会

歌詞

第3学年 美術 単元指導計画

単元名	話題を捉えて話し合おう		
日時	園芸科・木工科	家庭総合科・窯業科	農業科・工業科
	①11月5日（水）3・4校時	①10月10日（木）5・6校時	①10月23日（水）3・4校時
	②11月11日（月）3・4校時	②10月24日（木）5・6校時	②11月20日（水）3・4校時
	③11月18日（月）3・4校時	③11月21日（木）1・2校時	③11月28日（木）5・6校時
場所	美術室		
学習集団	第3学年（29名）	指導者	
単元目標	(1) 表現したいイメージに合わせて材料を選択し、小道具や原画を作ることができる。 (2) 写す角度や被写体の大きさ、光や影などがもたらす効果を理解して撮影することができる。 【知識及び技能】 (3) 自身のイメージをアニメーション作品として表現するために、構想を練ることができる。 (4) 他生徒の作品を鑑賞し、内容や感じたことを述べたり、書いたりすることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 (5) 自身の表現したい内容に近付けるように、表現方法を工夫し主体的に取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】		

本単元の評価の観点

基準 観点	S	A	B	C
知識・技能	表現したいイメージに合わせて材料を組み合わせ、原画や小道具を作ることができる。 構図や光の効果を意図的に使って撮影することができる。	表現したいイメージに合わせて材料を選択し、原画や小道具を作ることができる。 構図や光の効果を考えながら撮影することができる。	表現したい内容に必要な小道具や原画を、慣れた材料から作ることができる。 撮影した写真から、より良い構図や光の効果を考え、理解することができる。	教師の支援を受けて、表現したい内容に必要な小道具や原画を、慣れた材料から作ることができる。 教師の支援を受けて、より良い構図や光の効果を考えることができる。
思考・判断・表現	アニメーション作品のよさや面白さ、自身の表現したいイメージについて考え、構想を練ることができる。 他生徒の作品を鑑賞し、作者が伝えたかった内容や表現の意図を想像したり、アニメーション作品について考えが深まったことや自身の感想を述べたりすることができる。	自身がアニメーション作品として表現したい内容について考え、構想を練ることができる。 他生徒の作品を鑑賞し、内容や作者が工夫した点について想像したり、自身の感想を述べたりすることができる。	自身がアニメーション作品として表現したい内容について考え、教師の支援を受けて構想を練ることができる。 他生徒の作品を鑑賞し、登場した事物から得たイメージや、自身が感じたことについて述べたり書いたりすることができる。	教師の支援を受けて、表現したい内容について考えたり、アニメーションとして表現するための構想を練ったりすることができる。 他生徒の作品を鑑賞し、教師の支援を受けて内容について考えたり、自身が感じたことを表現したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	表現したいイメージを作品として創造する楽しさや、他生徒と感想を交流することを通して新たな視点に気付く面白さを感じ、美術に親しみをもつことができる。 自身の表現したいイメージを作品として具体化するために必要なことを考え、学んだことを生かして主体的に取り組むことができる。	表現したいイメージを作品として創造する楽しさや、他生徒と感想を交流することを通して新たな視点に気付く面白さを感じることができる。 自身の表現したい内容に近付けるように、学んだことを生かして主体的に取り組むことができる。	考えたことを基に作品を作る楽しさを感じたり、他生徒と感想を交流することを通して新たな視点に気付いたりすることができる。 自身の表現したい内容に近付けるように、一部教師の支援を受けながら、学んだことを生かして主体的に取り組むことができる。	考えたことが作品としてかたちになっていく楽しさを感じたり、他生徒の感想や教師の解説を聞いて新たな視点に気付いたりすることができる。 自分の考えをもち、教師の支援を受けながら取り組むことができる。

指導計画（全6時間（3回））

時間	学習内容	評価規準		
		知	思	態
1、2	・2年次に行ったアニメーション作成の復習 （アプリケーションの使い方や作成時の注意点について） ・構成を考える	○	○	
3、4	・構成を考える ・演出に必要な小道具を作る ・アプリケーションを使って写真を撮り、アニメーションを作る		○	○
5、6	・発表（テーマや表現したかった内容、工夫した点を伝える） ・鑑賞（内容や作者の意図を想像する、自身の感想をもつ） ・学習のまとめ		○	○

本時の展開（5、6時間）

過程	学習活動	指導上の留意点	教材・教具
13:10～ 導入	1 挨拶 指定された学科の日直は号令を掛ける。姿勢を正して挨拶をする。 2 内容の確認 プリントを確認し教師の発問に答える活動を通して、本時の内容が「発表」と「鑑賞」であることを理解する。 発表の手順について確認する。 （1）学科と名前を言う。 （2）作ったアニメーションを流す。 （3）「どのようなストーリーだと思いましたか？」などと言って感想を聞く（2～3人） （4）自分が選んだテーマと内容の説明をする。 （5）もう一度、自分が作ったアニメーションを流す。	1 号令を掛ける学科を指定する。必要に応じて、姿勢を正すように伝える。 ＜MT＞ 姿勢が崩れている生徒がいる場合は、個別に正すように伝える。＜ST＞ 2 プリントを配付し、本時の内容について発問する。＜MT＞ 2回鑑賞する場面を設けることを伝える。鑑賞の視点について、1回目は作者の説明なしで鑑賞し自由に内容を想像して良いこと、2回目は説明を受けた上で改めて見て作者の意図や工夫を読み取ることを説明する。感想を記入するプリントには、2回の鑑賞の感想や気づきを短い文章で良いので記入することを伝える。＜MT＞ 支援が必要な生徒を中心に、机間巡視する。必要に応じて、プリントを指さしたり言葉掛けしたりして支援する。＜ST＞ ※欠席が多く時間が余ることが予想される場合は、残り時間を見て線画の学習を追加することを伝える。＜MT＞	プリント
13:15～	3 発表準備 自分が選んだテーマや内容についてスムーズに説明できるように、セリフを考えたりメモしたりする。	3 プリントのメモ欄を活用すること、構想を練る際に使ったプリントを参考にして良いことを伝える。＜MT＞ 支援が必要な生徒を中心に、机間巡視する。発問して生徒の考えを引き出したり、文章を整理できるように支援したりする。＜MT・ST＞	プリント

14:00～ 休憩	4 発表・鑑賞 発表者は、手順に沿って発表する。 鑑賞者は、他生徒の作品を鑑賞したり説明を聞いたりする。2回の鑑賞の感想や気づきをプリントに記入する。 5 休憩 必要に応じて、水分補給やトイレに行く。	4 考えが深まるように、生徒の説明や感想について発問したり、説明を加えたりする。＜MT・ST＞ 作品に注目するように言葉掛けをしたり、個別に説明したりする。＜ST＞ 5 5時間目と6時間目の間に、発表の区切りが良いところで5分間の休憩を取る。	chromebook プロジェクター
14:05～	6 発表・鑑賞（続き） 発表者は、手順に沿って発表する。他生徒を指名し、感想を聞く。 鑑賞者は、他生徒の作品を鑑賞したり説明を聞いたりする。指名された場合は感想や気づきを述べる。2回の鑑賞の感想や気づきをプリントに記入する。	6 休み時間と気持ちを切り換えられるように言葉掛けをする。＜MT・ST＞ 考えが深まるように、生徒の説明や感想について発問したり、説明を加えたりする。＜MT・ST＞ 作品に注目するように言葉掛けをしたり、個別に説明したりする。＜ST＞	chromebook プロジェクター
14:40～	7 まとめ 自分がイメージした内容を基にアニメーション作品を作った感想や、他生徒との意見交流で得た気づきをプリントに記入する。	7 支援が必要な生徒を中心に、机間巡視する。発問して生徒の考えを引き出したり、文章を整理できるように支援したりする。＜MT・ST＞ （10分以上時間が余っている場合は、線画の学習を追加で行う。）	(ワークシート)
14:45～	8 清掃 分担し、机、床などを清掃する。	8 必要に応じて、手順を確認したり、適切に役割分担したりできるように言葉掛けする。＜MT・ST＞	掃除用具
14:50～	9 次時の内容の確認 単元や年間の予定から次時の内容を考えて答えたり、他生徒の発言を聞いて想起したりする。 教師の説明を聞いて、次時の内容や持ち物をイメージする。	9 単元や年間の予定について発問し、想起できるようにする。内容や持ち物について伝える。＜MT＞	
14:55	10 挨拶 指定された学科の日直は号令を掛ける。姿勢を正して挨拶をする。	10 号令を掛ける学科を指定する。必要に応じて、姿勢を正すように伝える。＜MT＞ 姿勢が崩れている生徒がいる場合は、個別に正すように伝える。＜ST＞	

1. 単元名・・・私の1日（4時間）

2. 単元の目標（年計より）

- ・1日のスケジュールを英語で発表をすることができる。

3. 各授業の学習内容

実施日	学習内容	手立て／準備物
10月30日	・身近な生活の動作を表す語句	
11月14日	・身近な生活の動作を表す英文 ・行動した時間を表す語句	・Chromebook ・動作の写真を撮影する
11月25日 公開授業日	・身近な生活の動作を表す英文 ・行動した時間を表す語句 ・発表練習	・Chromebook ・身近な生活の動作を表現した写真と英文を表示したスライド ・発表する英文カード
11月28日 ALT 授業日	・「This is my day（私の1日）」を発表 ・クラスメイトの発表を聞く	・ALT との TT

5. 指導略案

日 時	令和6年11月25日（木）4校時	指導者	長谷川、ST
本時目標	・1日のスケジュールを発表する英文を読むことができる。 ・スライドを見ながら、1日のスケジュールを英語でクラスメイトに紹介することができる。		
指導項目	学習内容	教師の支援	教材・教具
11:40	○挨拶をする ○スモールトークを行う。 ○本時の目標を確認する。 - スライドを使って、発表する練習をしよう。 ○授業の手順を説明を聞く。 - 自分の写真を使ったスライドを確認する。 - スライドを見ながら英語で説明する練習をする。 - 個人で発表をする練習をする。 - ペアで発表を聞き合って練習をする。	・ジェスチャーを交える。	テレビ PC Classroom スライド資料
11:50	○Classroom の操作をする。 - 自分のスライドデータを確認する。	・テレビに操作画面を提示する。	スライド（生徒発表用）
12:00	○個人で発表練習をする。 - 苦手な部分を確認する。 - 読み方がわからないところを先生に聞く。	・苦手な英単語の練習を一緒に行う。 ・必要に応じて、読み仮名をつける。 - また、練習後にふりがななしで練習するよう伝える。	発表する英文カード
12:15	○ペアで発表を聞き合って練習をする。 - スライドを見ながら、英文を発音する。 - 発表を聞いて、英語の発音を教え合う。 - 発表を聞いた相手の良いところを真似する。		
12:25	○まとめ - 次の時間に ALT の先生に発表をすることを確認		
備考			

情報 1年 指導略案

単元・ 題材名	GoogleworkSpaceについて (Googleform)	場 所	既存棟パソコン室
		指導グループ	普通科1年 8名
日 時	2024年9月5日(木) 4時間目:11:45~12:35	指導者	山本
目 標	・GoogleWorkSpaceの各アプリケーションの概要を理解することができる。 ・タイピングの基礎知識を確認し、正しくタイピングすることができる。 ・GoogleclassroomやGoogleformを活用し、様々な機能を使うことができる。		
時間(目安)	学習項目	主な学習内容	留意点・教材・教具
11:45	1 入室、挨拶	○日直の確認、挨拶をする。 ○本時の内容について知る。 ・シラバスの確認 ① タイピング(10分) ② グーグルワークスペースについて ③ Googleclassroom について ④ Googleform について	※身だしなみ、姿勢の確認、椅子の高さ調整
11:50	2 タイピング練習	○「速度」ファイルを呼び出し、今日の日付を打ち込み、タイピングの準備をする。 テキスト、書見台を準備。	テキスト(P-30)
12:00	3 ワークシート	○ワークシートに氏名を記入する。 ・モニターの解答を見て記入する ・終わり次第ファイルに閉じる。 ・使い方の説明、(作成方法など)	他の生徒の作品を見ることで、新たな観点を見つけ、自分で創意工夫する場面が見られた。「先生、もう一回作り直していいですか。」などの質問が多数あった。
12:10	4実践演習	○見本を見ながら作成する。 ・終わり次第、他の生徒のアンケートに答える。 ・隣り同士で相談をして作成する。	
12:35	4 挨拶	○道具の片付け、振り返りをする ○日直の挨拶で終了、退室	生徒用端末
評価	・GoogleWorkSpaceの各アプリケーションの概要を理解することができたか。(行動観察) ・タイピングの基礎知識を確認し、正しくタイピングすることができる。(行動観察) ・GoogleclassroomやGoogleformを活用し、様々な機能を使うことができる。(ワークシート、行動観察)		

【授業で使用した教材の一例】(Googleform)

アニメは見ますか？

☐ 見てる

☐ 見てない

アニメを見ているとしたらおすすめ教えてください！！

回答を入力

ゲームはしますか？

☐ する

☐ あんまりしない

ゲームしている人は何のゲームをしていますか？
やって欲しいゲームはありますか？

回答を入力

個人的なおすすめのゲームは原神です。
面白いです。容量すごく取られるけど凄く面白いし楽しいので是非やってください。



○答えを選択式にすることで、普段コミュニケーションが苦手な生徒でも、容易に答えることができた。

○イラストや画像を挿入することで、よりわかりやすい内容になることが実感できた。

○アンケートを会話の話題にすることで、コミュニケーションのきっかけになった。